

霧島市国際交流協会



イベントレポート Vol.40(令和4年度第3号)

10月
15日

鹿児島神宮隼人浜下りに参加しました!

3年ぶりの通常開催となった鹿児島神宮隼人浜下り。霧島市国際交流協会からアメリカ・イギリスのALT 5名とアメリカ・韓国の国際交流員 2名が参加。甲冑武者、女武者、白丁に身を包み、午後1時に鹿児島神宮から浜之市にある八幡屋敷を目指し出発しました。約4kmの道のりを「チェスト!」「オー!」と声を出しながら歩きました。甲冑武者で長距離を歩くのは想像以上に暑く大変だったようですが、道中様々なおもてなしを受け笑顔が見られました。隼人漁港では放生神事(鯛の放流)が行われ、ALT達は近くへ駆け寄って興味深そうに見ていました。その後、八幡屋敷に向かい無事に最後の神事を終えました。

参加したALT・国際交流員からは「サムライになった気分!」「とても疲れたけど、忘れられない思い出」との声を聞いて、事務局一同、日本の古き良き文化を外国の方々へ体験させることができ、喜びを感じることができました。



霧島ふるさと祭に参加しました

11月
6日

今年の国際交流ブースは、韓国国際交流員による「韓国の伝統衣装ハンボクの折り紙を折ろう」、アメリカ国際交流員による「中国の開運結びを作ろう」、スリランカからの留学生による「シンハラ文字で名前を書いてみよう」のワークショップを準備しました。

ブース内には「第一工科大学と鹿児島高専の留学生の母国紹介」「国際交流員の出身地域紹介」「青少年海外派遣事業」のパネルやポスターの展示も行いました。当日はのべ75名が国際交流協会のワークショップを体験しました。体験した人からは「1日で色んな国の人とお話できて、とても楽しかったです」などの声が聞かれました。

コロナ禍を経て3年ぶりの開催となる霧島ふるさと祭でしたが、10時の開始から途切れることなく多くの方が来場し、霧島市国際交流協会の活動を知っていただき、とても嬉しく思います。また来年の開催ができることを楽しみにしています!



霧島市国際交流協会



令和4年度 外国人のための生活文化等講座

令和3年度に鹿児島県と共同で開催した「外国人のための生活文化等講座」を令和4年度は霧島市国際協会単独事業として、日本語サポーター7名と外国人5名と一緒に全5回開催しました。今年度は、鎌田建設株式会社にご協力いただき、ベトナム出身の技能実習生5名を対象に、日本文化への理解やコミュニケーションを図りました。また全5回の講座は日常生活に関連のあるテーマを用意し、霧島市の出前講座を活用して市の職員による講座も行いました。

以下、どのような講座が行われたのか、ご紹介します。



第1回 ごみの分別収集・リサイクルについて



霧島市役所環境衛生課による「ごみの分別回収・リサイクル講座」を開催しました。霧島市でのごみの出し方・分け方について、廃棄物・リサイクル関連法について、ごみ問題Q&Aなどについて講義ののち、日本語サポーターと外国人による意見交換が行われました。

【参加者の声】

- 一番良かったことは、分別しないといけないことを勉強してもらえたこと。
- 準備した資料が読めない・理解できないと言っていたので、絵や写真入りにするなど工夫が必要だと思った。



第2回 救急（AED等）・応急手当について



霧島市消防局を訪れ、心肺蘇生法やAEDを使った救命措置の方法を霧島市消防局警防課の方から教わりました。消防署内の見学も行い、指令室の仕組みを通して、緊急時の通報の仕方も確認を行いました。

【参加者の声】

- 私たち日本人でも、このような場面でパニックになりそうですが、今回どういうふうにするのが流れを知るだけでも、いつか何かの役に立つと思いました。
- 実習生は真面目で飲み込みも早かった。



第3回 防犯・交通安全について



霧島市安心安全課による、自転車事故・事件・ネット・スマホ上の犯罪など様々な身の回りの危険についての講座を開催しました。講座で上映したビデオにベトナム語の字幕がついており、分かりやすかったと好評でした。

【参加者の声】

- ・ 話をする時間をたくさんとっていただけだったので、お互い分からないことも多いながらも、言葉を変えながら少しずつ理解することができて良かった。
- ・ 分かりやすく相手に伝えるために、やさしい日本語、霧島市の地図、絵・写真などが必要でした。



第4回 コミュニティバスの利用について



霧島市地域政策課の職員を招き、実際にコミュニティバスに乗って利用の仕方を説明を受けました。在住外国人は自家用車を持っていない方が多く、バスを活用して買い物を楽しむ方法を提案でき、とても好評でした。

【参加者の声】

- ・ 実習生たちは「バスに乗るのが初めて」と言って、景色や街中の説明を聞いたり話したりして楽しんでいるようだった。
- ・ 買い物は問題なくできるよう。ベトナムの調味料を買う姿も見れて、とても興味深かった。



第5回 霧島ジオパーク・霧島市内の観光地紹介・交流会



最終回は、霧島ジオパークや市内の観光地の紹介を行い、霧島市の魅力を発信しました。その後は、お弁当やベトナムコーヒーを飲食しながら、交流会を開催し、なごやかな雰囲気の中、みな話が弾んでいたようでした。

【参加者の声】

- ・ 飲食をしながらだったので、今まで以上にうちとけて会話ができて良かった。またテーマが観光であったので、自分の材料を持参して、詳しい説明ができて良かった。
- ・ 最初は手探りのようだったが、一緒に少しずつ前進・成長して外国人に喜んでもらえれば嬉しい。



『外国人のための生活文化等講座』はこれからも続きます！

令和3年度から開催している『外国人のための生活文化等講座』は、日本人と日本で暮らす外国人の方との共生を目指して、今後も継続的に開催予定です。

次回は、霧島市国際交流協会の法人会員でもある株式会社HIMEGIで、ベトナム人やミャンマー人の技能実習生を対象として講座を行います。

当講座に関してご興味のある方やご質問等ございましたら、お気軽に霧島市国際交流協会事務局までお問い合わせください。



国際交流トレッキングを開催しました！

9月にエリアが拡大した霧島ジオパークを通して、様々な霧島の魅力を在住外国人の方に体験してもらうため国際交流トレッキングが開催され、日本人11名とアメリカ・韓国・中国・ベトナム・インドネシアからの外国人7名が参加しました！

11月26日



まずは準備運動から

①えびの高原



経験豊富なジオガイド



静かな湖水が神秘的

②白紫池(びやくしいけ)

③六観音御池



秋には紅葉が水面に映ってきれい



鹿児島県の郷土料理に舌鼓

④霧島さくら農園



霧島さくら館前で西郷どんと

12月3日

国際交流茶道体験

今年度2度目となる国際交流茶道体験を開催しました。今回は8月開催でしたが、季節によって茶道のお点前は変わります。お湯を沸かす竈が夏は「風炉」と言い畳みの上に置かれるのに対し、冬は「炉」と言って囲炉裏のような形になります。お茶菓子は柿の形で季節を感じることができました。



韓国国際交流員の李さんと韓国のお茶文化の話も盛り上がり、楽しい時間となりました。皆様のご参加お待ちしております。

韓国料理キッチン

韓国国際交流員 李さんの料理講座で「じゃがいものチヂミ」と「コチジョン」を作りました。どちらも伝統的な韓国料理ですが、とても簡単に作れます！講座は李さんが実践をしながら作り方を教えていく予定が…、参加者の皆さん手慣れた方が多く、レシピを見ながら李さんより先にテキパキ調理されていました！

料理の後は、韓国のお話を聞きながら試食タイム。次はどんな料理講座でしょうか？お楽しみに！

